

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員 山口虎太郎

NO1

実施月日	令和6年8月1日		
実施時間	13時30分～15時30分		
調査先	宮崎県綾町役場		
調査所在	綾町役場 議会第一会議室、及び有限会社松井農園農場		
調査の目的	有機野菜の取組について(アヤオーガニックスクールの現地研修)		
調査先担当者	綾町役場農業振興課有機農業 係長 森本隆太氏 綾町議会事務局 議会事務局局長 高松俊秀氏 有限会社松井農園代表取締役社長 松井道生氏		
	<p>【綾町の概要】 宮崎県内内陸部に位置する人口6,632人、世帯数2,844世帯の農業の町</p> <p>【調査研究】昭和63年に「綾町の自然生態系農業に関する条例」制定の背景には、前町長が農協長時代より進められてきた近代農業の食の安全性を問題しされ、綾町憲章の「自然生態系を生かし育てる町にしよう」と基本理念を立て町民の理解、協力を得て町ぐるみで推進に取組まれ、推進体制の組織構成と農産物の認証基準の仕組みを構築され、流通においても有限会社松井農園を中心に町内消費者はじめ公共施設学校給食、JA綾町、町外へは大手スーパー、生協等への流通販路拡大を取組まれており、需要が高いふるさと納税の返礼品としても人気を集めていると伺った。新たな取り組みとして「綾オーガニックスクール」を開始されており、担い手育成にもしっかり取組まれていた</p> <p>【まとめ】綾町の自然体系農業を取組まれた町長さんの農業に対する信念、と実践者の松井社長の合同会社アヤオーガニックワークス(有機JAS取得構成員4人のメンバー)の実践力は綾町自然生態系農業を支える説明と実践であった。また事務局(綾町役場)と運営受託(合同会社アヤオーガニックワークス)は連携し生産販路から、就農への研修就農制度をしっかりと確立されていた。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費		35,570
	宿泊費	コンフォートホテル宮崎	8,200
	合計		43,770

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員 山口虎太郎

NO2

実施月日	令和6年8月2日		
実施時間	10時～11時30分		
調査先	宮崎県総合農業試験場支場		
調査所在	宮崎県総合農業試験場支場 3階会議室		
調査の目的	みやざき茶振興の取組について		
調査先担当者	宮崎県茶業協会みやざき茶推進協議会 事務局長 吉留 浩氏		
内容・結果等	<p>【調査目的】1沿革、宮崎県農事試験場茶業部として大正2年に発足、昭和40年に総合農試栽培部茶業支場と改称し、昭和58年総合農業試験場茶業支場となる。総面積は12.7haの内茶園6heで製茶実験、育種調査がされており育成した品種は15種、世に出る品種となるまでの期間は最低でも20年～25年の特性試験を必要となり、育種の開発は時間が必要と説明をされた。</p> <p>2. 製茶機械の開発もされており新香味茶(国産ウーロン茶等)の新型萎凋機の開発をメーカーと共同開発もされ、農林水産省「農業新技術2017」に選定されていた。3. 煎茶用、釜炒り茶用の輸出用防除暦の作成(米国、EU向け)、4. 物理的防除等を活用した輸出対応型IPM技術を開発されて、有機栽培茶輸出への方向性も考えられていた。5. みやざきブランド釜炒り茶「釜王」の認証審査要領をみやざき茶推進会議で作成され、県を含む茶業構成団体組織で活動されていた。</p> <p>【まとめ】市場価格の低迷で各地、生産販売を苦心されており、今回の視察研修として、品種の育苗から研修し茶業の課題を県市と茶業各団体が生き残りを賭け目標設定を議論し連携し取り組む必要を、さらに考えさせられた。</p>		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
	旅費		
	宿泊費他NO1に記載		
	合計		0

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること